

報告

保険医療医師研修会

常任理事・医療保険部長 橋本 洋一

会員各位に「より適正な保険診療の実践」および「保険診療上のルールや留意事項等の周知」等を目的に平成14年度から毎年実施しており、平成25年度から会員のほか会員が勤務している医療機関の事務職員も対象とし、今年度は表1のとおり開催した。

本研修会は例年、当会医療保険部担当役員が道内各地に赴いて（昨年度は岩内町、帯広市、函館市、苫小牧市へ訪問）、講演を行っているが、平成25年度から勇気会 北央病院院長兼、北海道厚生局保険指導医（前統括指導医療官）古家隆司先生をお招きし、講演していただいている（表2）。

初めに「保険診療上のルールと指導・監査」について釧路市（釧路市医師会対象）では小職が、砂川市（空知医師会対象）、小樽市（小樽市・余市医師会対象）、千歳市（千歳・恵庭市医師会対象）では古家先生が①診療義務と患者への説明義務の重要性、②診療録記載の重要性（診療した内容を診療録に記載し、診療録に記載した内容を診療報酬請求）、③病名選択による自動算定の注意点、④一般個別指導の概要や個別指導における指摘事項、⑤保険診療における禁止事項、⑥保険外併用療養費の概要、⑦在宅医療における問題点、⑧個別指導や適時調査の概要、⑨施設基準の注意点等について説明した。

この他に北海道方式の「集団的個別指導」についても、導入された経緯や、保険医療機関の管理者が正当な理由なく欠席した場合には、返還を伴う「個別指導」に移行し、「個別指導」も欠席した場合には「監査」に移行する可能性があることなどを説明したうえで、必ず出席するよう注意喚起を行った。

次いで、「保険診療上の留意事項」について砂川市、小樽市では小職が、釧路市、千歳市では笹本常任理事が①日本の医療保険制度、②診療録とレセプトの相関、③医療費・レセプトの流れ、④コンピュータおよび審査委員の審査内容、⑤返戻・査定の特徴、⑥レセプト請求時の注意点、⑦症状詳記のポイント等について説明。

また、内科領域ならびに全科で問題となる事項や指摘、返戻が多い事項・査定対象になりやすい例を数例挙げ、「医科点数表の解釈」等を十分参照する

よう促した。

各地域の出席者からは「健診後（病気を発見した場合）の治療・検査費用」、「返戻・査定事由」等に関する質問があり、活発な意見交換を行った。

平成27年度の開催は11月11日を以って終了したが、引き続き平成28年度も行う予定であるので、開催の際には、是非、出席をいただきたい。

なお、「平成27年度の指導について」は本誌第1160号（平成27年5月1日発行）の解説に小職が執筆しているので参照いただきたい。

最後に、【診療録への記載】については、医師法第24条や療養担当規則第22条に診療後、遅滞なく記載する旨の内容が明記されていることから、診療録に記載した内容は診療した証拠であり、医療費請求の根拠でもある。診療録への記載は法で定められているため、仮に情報提供等で個別指導を受けることになっても医科点数表の解釈（いわゆる青本）に記載されているルールに則って診療していれば恐れることはない。

また、診療録へ診療内容等を記載することで医療事故防止や医療事故の原因究明、事故対応・事故対策にもつながるため、診療録への記載をしっかりと行っていただきたい。

表1 開催状況

回	日時	場所	出席者
1	平成27年9月16日(水) 午後6時30分～	釧路市・ANAクラウンプラザホテル釧路	36名
2	平成27年10月6日(火) 午後6時30分～	砂川市・砂川パークホテル	29名
3	平成27年10月28日(水) 午後6時30分～	小樽市・小樽市医師会館	57名
4	平成27年11月11日(水) 午後6時30分～	千歳市・ANAクラウンプラザホテル千歳	50名

表2 保険医療医師研修会 次第

1. 開 会 (司会) 北海道医師会常任理事 医療保険副部長 笹本洋一
2. 挨拶 北海道医師会、開催地医師会
3. 研 修 (1) 保険診療上のルールと指導・監査について (60分) 北海道厚生局保険指導医 古家 隆司 (砂川市・小樽市・千歳市) 北海道医師会常任理事 橋本 洋一 (釧路市)
(2) 保険診療上の留意事項について (30分) 北海道医師会常任理事 橋本 洋一 (砂川市・小樽市) 北海道医師会常任理事 笹本 洋一 (釧路市・千歳市)
4. 意見交換
5. 閉 会